

患者さんおよびご家族の方への臨床研究のお知らせ

自治医科大学附属さいたま医療センター 認知症ケアチームでは、下記の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】

認知症ケアチームを活用した認知症ケアの質向上に向けた基礎的研究

【研究者】

・研究責任者

自治医科大学附属さいたま医療センター 認知症ケアチーム 主任看護師 村山真由美

【研究の対象となる方】

2022年4月1日から2023年3月31日の間に入院した患者さんです。

対象患者の選択基準として、①認知症高齢者日常生活自立度判定Ⅲ以上

②認知症ケアチームが実際介入した患者さん とします。

なお、重度の意識障害がある患者さん（GCS8点以下）は除外しました。

【研究の目的・方法】

高齢化の進展に伴い、認知症を有する方は増加を続け、2025年には約700万人に達すると推計されています。急性期病院の65歳以上の患者さんの認知症の保有率は32%程度であり、今後さらに認知症高齢者の方の対応が必要です。当院の認知症患者さんは、予定の入院に加えて、救急搬送も多い現状にあります。認知症や認知機能低下がある患者さんは、入院中に伴う生活環境の変化により行動心理症状（BPSD）を誘発されやすい特徴があります。さらに身体疾患の影響によりせん妄症状も加わり、対応困難な状況になることも稀ではなく、治療経過に影響を及ぼすことも多くあります。

当院においては、2021年度より認知症ケアチームを発足し活動していますが、認知症ケアチームの活動実態を把握することが急務であると考えています。認知症ケアチームの果たすべき役割の評価や課題を示すには対象の分析が基盤となるため、まずは対象患者の分析を行い施設の特性を捉えたうえで認知症ケアの質評価を検討していく予定です。これらの研究をすることで、当院の今後の認知症ケアの助けになることが期待されます。

【研究に用いる試料・情報の種類】

主な情報収集項目：電子カルテ上に記載・登録された以下の項目です。認知症ケアチームが対象とした患者の属性（性別、年齢）、入院に伴う事項（入院日数、退院先、身体拘束の有無、入

院時に受けていたケア、入院病棟の推移など) や、認知症ケアチームの介入状況ならびに検討会議資料などです。

収集した情報は誰のデータか分からなるよう、氏名等の記述を削除し、新たに研究用の符号を割り当てた上で保存されます。政府が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。個人情報が第三者に漏れる事がないようにいたします。

【研究期間】

この研究の期間は、2024年2月2日から2024年12月31日までです。

【本研究に関する問い合わせ】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

- ①ご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を入手又は閲覧することが出来ますのでお申し出ください。
- ②また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

お問い合わせ先

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

自治医科大学附属さいたま医療センター

Tel048-647-2111

研究担当者：看護部 主任看護師（氏名） 村山真由美

苦情の窓口

自治医科大学附属さいたま医療センター 総務課 Tel048-648-5225